

第1回三郷市都市計画マスタープラン策定協議会における意見・回答

- 1 開催日時 令和元年12月23日
- 2 開催場所 全員協議会室
- 3 出席者 16名（委員総数17名）

（委員）

後藤 智香子 部会長、 遠藤 薫 部会長代理、 福岡 孝彰 委員、
戸邊 修司 委員、 大久保 貴章 委員、 堀切 茂友 委員、 吉田 隆 委員、
澁谷 浩行 委員、 横内 浩一 委員、 富岡 透 委員、 安晝 和巳 委員、
葛西 優香 委員(欠席)、 工藤 トモ 委員、 渋谷 かつ枝 委員、
村岡 正道 委員、 宮田 久美子 委員、 永塚 守利 委員

（事務局）

松本まちづくり推進部長
矢野まちづくり推進部副部長兼みどり公園課長
城津都市デザイン課長、浦川主幹、富安主査、武田主事、南雲主事
支援業者 国際航業株式会社

4 議題

- ① 都市計画マスタープラン策定方針及び策定体制について
- ② 都市計画マスタープランの現状と課題
- ③ 庁内組織による各施策の検討状況について

策定協議会における意見と事務局側の回答

	委員からの意見	事務局の回答
1	策定協議会の開催日数が、令和元年度が2回、令和2年度が3回では少ないのではないかと。	最低限必要な回数として計画しており、今後必要性が出てくれば会議を追加する。
2	策定協議会とは別に、福祉や子育てなどの専門分野ごとに検討部会を設ける必要があるのでは。	検討部会の設置は想定していないが、今後の検討課題とする。
3	現行の将来都市構造図では、三郷料金所スマート IC が産業立地ゾーンとして位置づけられているが、将来的に整備されると車の流れが変わり、新たな交通渋滞や環境への影響も出てくるのではないかと。	現行の将来都市構造図を踏襲することを前提としているが、拠点等の位置づけをこれから検討する。
4	現行の将来都市構造図を踏襲するのであれば「きらりとひかる田園都市みさと」と相違が発生するのではないかと。	「田園都市」とは、拠点を中心として適切な土地利用により田園を保全していくことを意図している。

5	南部拠点の今後の具体的な方向性について。	三郷南 IC の東西に都市計画道路があり、外環自動道の西側は整備済みで、東側が未整備であるが、このエリアの活用を検討している。
6	三郷市は他市と比べて市街化調整区域が広いのではないかと。不要ということも考えられるのではないかと。	社会情勢が変化しており、市街化調整区域で開発を進めたほうがいいのか、あるいは一定の区域で開発を進めるのか検討する。
7	子供や高齢者、障害者が歩いて集える居場所づくりに繋がるまちづくりや、子育て環境の整備の充実をまちづくりに反映してほしい。	現行のマスタープランでは福祉についてほとんど触れられておらず、新たなマスタープランでどこまで記載できるか未定ではあるが、各分野に視野を広げて対応する。
8	都市計画の視点について、20 年前はハード面が重視だったが、これからはソフト面にシフトしていく必要があるのでは。	ソフト面にシフトするわけではないが、視野を広く持って進めていきたい。